



抗菌おしぼり製造機で病院などの 作業効率アップに大きく貢献

株式会社ファインド・オン 代表取締役 藤木 賢哉氏

ボタンひとつで使い捨ての 抗菌おしぼりを自動製造

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、飲食店をはじめ企業などさまざまな場所で消毒液や非接触型の検温カメラなどの導入が加速。そうした中、病院や介護施設向けに使い捨ての抗菌おしぼり製造機『FIND』を販売する福岡市東区多の津の株式会社ファインド・オンに、注目が集まっています。

もともとゲームセンターなどにおしぼり製造機を卸していたところ、他の業種にも販売を拡大するために市場調査を実施。代表取締役の藤木賢哉さんは「実際に病院などを回ったところ、布タオルを洗濯したり、濡らして巻いたりしながら、手作業で清拭用のおしぼ

りをつくっていることがわかりました。施設によっては保温器を利用せずに、電子レンジでひとつひとつ温めているケースもあるなど、おしぼり製造機のニーズを感じました」と振り返ります。

そこで海外からさまざまなおしぼり製造機の試作機を取り寄せ、病院や介護施設からの要望を反映してつくり上げたのが『FIND』です。おしぼりを自動でつくるだけでなく、長さや温度、湿り具合を細かく設定することができます。長さは20～35センチの間で1センチ刻み、温度は60～95℃の間で1℃単位の調整が可能。一度に最大50本まで連続でおしぼりが取り出せます。

また使用方法も簡単で、ボックス型の機械に天然素材の不織布ロールをセット。給水タンクに水道水と大豆ア

ミノ酸を主成分としたノンアルコールの専用抗菌液を入れるだけで使用できます。

「厚生労働省のガイドラインによると、介護現場などでは使い捨てのおしぼりを使うことが望ましいとされているものの、まだまだ実際の現場とはギャップがあります。そういった現場に『FIND』を導入すれば、衛生面の改善が見込めるほか、50～100床の施設であれば毎日1時間程度の作業効率化が実現できるはず」と藤木さん。そうして2015年1月の販売開始から徐々に販売実績を伸ばしてきた『FIND』ですが、新型コロナウイルス感染症対策のツールとして脚光を浴び、コロナ禍以前と比べ問い合わせ件数は5倍になるなど、存在感を強めています。

【プロフィール】

熊本県出身。長崎大学経済学部卒業後、通信機器営業などを経て、貿易会社に入社。自動おしぼり機の製造販売に携わり、2018年10月に株式会社ファインド・オンの代表取締役役に就任。趣味は音楽鑑賞。



1 ファインド・オンが販売している『FIND』(右)と『CURUPO』(左)。
『CURUPO』はさまざまな場所に設置できるよう、ひと回りコンパクトになっている
3 専用抗菌液と同じく大豆抽出アミノ酸を主成分とした抗菌・抗ウイルススプレーも販売。アルコールフリーでさまざまな用途に活用できる

2 『FIND』は機器前面のボタンで、おしぼりの長さや温度、湿度、具合、本数などを細かく調整することができる
4 『FIND』はナースステーションなどに設置。設置工事は不要で、電源プラグをコンセントに差し込むだけで使用可能

抗菌おしぼりをもっと身近に 簡易版『CURUPO』を開発

医療現場などで導入が進む『FIND』に加え、ファインド・オンではよりシンプルな操作で抗菌おしぼりがつくれる『CURUPO』の販売を2018年にスタートしました。長さや温度など施設ごとの細かなニーズに対応できる『FIND』に対して、『CURUPO』はおしぼりの長さを25センチに固定。温度も常温とホットの切り替えのみと簡潔にすることで機器自体の費用を抑え、導入のハードルを低く設定しています。

藤木さんは「今まで抗菌おしぼりが必要な場所という医療施設に限られていましたが、新型コロナウイルス感染症の流行以降、オフィスやゴルフ場、エステサロンなどさまざまな場所にニーズが生まれています。営業先の業態を絞らず、固定観念を持たずに色々な業界にチャレンジしていきたいと思っています。また機器にかかる費用を抑えるため、レンタルプランの導入も検討中です」と意気込みます。

福岡から抗菌おしぼり製造機を 全国へと広げていく

2021年4月末現在で『FIND』を導入している施設は約180箇所、販売代理店として約40社が加盟するなど、ファインド・オンの抗菌おしぼりは徐々に広がりを見せている一方、藤木さんは「まだまだ機器の導入も販売店も福岡が中心。これからは福岡で事業モデルを確立して、さらに拡大していきたい」と話します。

またコロナ禍における感染症対策のため、商談や商品のデモンストレーションが鈍化していることを営業課題に設定。そこでまずはオンラインによる商談システムを構築、商品解説動画を作成し、エンドユーザーとの対応をすべてインターネットで完結できるようにホームページの改修を進めています。

「ファインド・オンは抗菌おしぼり製造機のメーカーとして、商品インフラの整備や新商品の開発を進めていきたい」と藤木さん。現在は施設の入り口などに設置し、蒸気によって全身を除菌する機器を開発中で、加えて小さな子どもでも使用できる抗菌おしぼり製

造機についても開発を検討しているそうです。

「幼稚園や保育園などにおいても、抗菌おしぼりのニーズは高いはず。コロナ禍で衛生管理に人的リソースを割かねばならないのは、医療現場に限った話ではありませんからね。自動のおしぼり製造機は20年前くらいからあった機器ではありますが、一般の飲食店やオフィスまでには広がらなかった商品。今は一般家庭にあってもおかしくはありません。コロナ禍という厳しい現状ではありますが、これをビジネスチャンスとして捉えて拡大していくことはもちろん、皆さんの手助けになればと思っています」。

取材日：4月26日

find on

株式会社ファインド・オン

〒813-0034 福岡市東区多の津1-9-6

TEL 092-292-0278

<https://fukuoka.find-on.net/>